

令和5年地域井戸端会 報告書

開催日時	令和5年5月17日（水）18時30分～20時30分		
開催場所	和田まちづくりセンター	参加人数	10
出席議員	村武まゆみ、芦谷英夫、田畑敬二	議長	-
テーマ別に 出た意見	<p>【総務文教】子どもたちと地域の関わりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平日に子どもの姿がなく地域の見守りがしにくい。少子化の影響で子どもとのふれあいの機会が少ない。子どもがいない。もっと家庭の大人がふれあいの場を考えて行く必要がある。 ・ 学校統合により和田地区はバス通学。学校支援に対し地域の参加、協力ができている。まちづくりセンターの協力体制ができている。 ・ 地域で子どもを守っている行事が多い。（成人式、入学式、卒業式などの放送が流れている） ・ 少子高齢化に対し、ITができること、外部人材でカバーすることなどを探る必要がある。 ・ 地域づくりや子育ては、親だけで学校だけではなく、地域のすべてで多くの人と一緒に進める必要がある。 ・ 子どもだけではなく、接点のなさそうな世代やグループとのかかわりを持つことが必要である。 ・ 我が子でなくても関わりを持たれている、場所としてふるさとではなく、人とのふれあいがふるさととしての思い出に残る。 ・ コロナ時代に育った子どもたちには、いまどう思っているのか、考えておく必要がある。 ・ 昨年から、旭小学校、みどりの少年団とのふれあいとして、彼岸花の植栽などしている。 ・ 大学や就職などで、県外ではなく地元の大学、地元企業に残ってもらいたい、都会に出ると地元に戻ってこれない。 		

	<p>【福祉環境】健康について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり委員会でRMOを実施している。農福連携を進めていきたい。まちづくりセンターも関わっている。社会教育の視点も入れていきたい。 ・サロン等に行く交通手段がない。 ・以前は電動車に乗っている高齢者をよく見かけていたが、最近あまり見なくなった。施設の入居者が増えたのかもしれない。 <p>→使っていない電動車の使い道があるかも。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナがあり、高齢者には影響があったのではないか。 <p>【産業建設】農業・林業・漁業の問題点と希望について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中山間地域が、国土を維持しているので、ゆうひパークや三つ桜跡地を取得するよりは、中山間地域の、小規模、高齢化率の高い地域の農業に、目を向けるべきである。 ・地域守るため一担い手への助成 ・農業基盤の整備・・・昭和40年頃の圃場整備であり、畦畔が風化しているため、再度圃場整備が必要である。 ・耕作放棄地対策－地域で農地を守る。(高齢化・人出対策) 仕組みづくりについて市の考えは？ ・農業は地域の財産であるため、市として、明確な方針を示すべきである。
自由意見	【回答したもの】※回答概要も記載

【持ち帰るもの】

- ・賃金が低いので、賃金の高い都会、地域へ子どもを送り出している、大企業が都会に集中しすぎて、島根県と都会との賃金格差を少しでも縮め、日本全体の賃金格差をなくす必要がある。(総務)
 - ・住み慣れた地域に空き家がある、空き家問題をどうにかする必要がある。(総務)
 - ・地域づくりはできることをできる人が行うことが必要。(総務)
 - ・高齢となり農地の管理ができない状況にある中、農業委員会から税金を上げるという文書が出て困っている。(産業)
 - ・浜田市は漁業に力を入れており、中山間地に生活していて林業のことが見えてこない。(産業)
 - ・活動に参加する人が減った。同じ人が参加している。(総務)
 - ・和田の未来を考える会で住み続けるために農地を守っていききたい。(総務)
 - ・和田の桃はとても評判が良い。農業の視点より、地域振興の位置付けで取り組んでいきたい。(総務)
- 農業お試し体験などをして移住に続けていきたい。

令和5年5月6日 議会広報広聴委員 村武まゆみ